

医政総発 0315 第 1 号

令和 4 年 3 月 1 5 日

木村 壯介 殿

厚生労働省医政局総務課長



令和 4 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
に係る研究課題の評価結果について

令和 3 年 12 月 21 日付け令和 4 年度厚生労働科学研究費補助金公募要項に
基づき研究計画書を提出していただきました貴殿の研究課題について、別紙
のとおり、総合的に評価した結果、採択となった旨通知します。

なお、厚生労働科学研究費補助金の交付額については、交付基準額等通知書
において通知します。研究事業開始日は交付基準額等通知書の発出日以降とし、
この日以降に当該研究事業のために支出した経費が補助対象となることにご
留意願います。

別表 1 事前評価結果（研究者通知用）

研究事業名（年度）：地域医療基盤開発推進研究事業（一般公募型）（令和4年度）

研究者名：木村 壯介

研究課題名：医療機関内の医療事故の機能的な報告体制の構築のための研究

課題の採択結果
採択

研究申請件数 19	課題採択件数 13
--------------	--------------

○評価点数 5点中 点（平均3.6点）
（ ）内は、全研究課題の平均点

○評価点数の分布

点数	0~1.0	1.1~2.0	2.1~3.0	3.1~4.0	4.1~5.0
課題数	0	0	3	15	1

【評価委員会のコメント】

○評価できる点、推進できる点

○医療機関内の医療事故の機能的な報告体制の構築のための研究と同じ題名であり、内容も似ている。同様に過去の実績がある。海外でも医療事故の報告体制の調査項目もあり、最終的には既存の医療事故調査制度に関連したセミナーへの合流など現実味が高い。法学部からも分担者がおり、配慮がされている。

○特に課題のある特定機能病院のインタビュー調査を行うなど、課題解決への実現可能性が高い。

○研究代表者らはこの領域の研究・実務で実績があり、医療安全調査機構を始めとする関連団体との連携も取れている。また、法律の専門家が分担者に入っている。

○疑問点、改善すべき点その他助言等

○疫学関係の研究者の参加があることが望ましい。

○提案されているアンケート等や海外の状況の検討・比較はこれまでもなされてきたと思われる。ガイドラインの作成に際してはより広く意見を聞く手順、パブコメなどを考慮してはどうか。

○倫理性について改善を要する点